

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (株式会社長野ナブコ)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14					
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			差別が起こらないよう管理職がマネジメントをし、雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、雇用条件で差別がないことを確認している。						5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3										
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメントを防ぐ社員教育を行っており、相談体制を整備している。						5.1 5.2 5.5		8.5 8.8											
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			出退勤の記録や業務日報にて従業員の勤務時間や業務の負荷を管理し、また、労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。								8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			外国人労働者の採用を前向きに検討しており、労働環境や受け入れ態勢の整備についても進める予定としている。			4.4					8.7 8.8	10.2 10.3										
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			就業規則の通り、安全衛生管理に関し必要な事項を定め、社員(協力業者を含む)の安全を確保し、作業遂行の円滑化と生産能力の向上に取り組んでいる。			3					8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			健保組合や検診機関の指針に合わせメンタルヘルス対策に取り組んでおり、メンタルヘルス不調者を報告・審議する社内体制も構築している。			3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			女性が活躍できる環境整備を進め、会社説明会等においても発信をしている。また、定年を迎えた60歳以降の再雇用にも取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3										
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			業務に必要な資格取得の促進や、取得を志したい従業員への支援体制、各資格への手当支給、報奨金制度や教育訓練休暇を提供している。			4	5.5				8	9										
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金の趣旨を踏まえ、社内の体制を整備し原則に沿った対応をしている。					5.5			8.5	10.2 10.3										
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			全ての従業員の健康診断受診や予防接種の補助等を行い、従業員への健康投資に取り組んでいる。また健康に関する情報配信に取り組んでいる。			3					8											
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			廃棄物の種類や量を把握し、専門業者への委託により適切な処理に取り組んでいる。															11.6	12.4		14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			各拠点における概ねの使用量目標を定め管理を行い、また節電対策も講じ、エネルギー使用量削減の取組みを継続的に行っている。								7.3									13		
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			温室効果ガス排出量削減の取組みとして、LED照明の導入、ハイブリット車両の積極的採用、太陽光発電の設置等、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。								7.2 7.3								12.4	13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令等で規制されている有害化学物質を把握し、その使用については使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる。				3.9			6.3								11.6	12.4			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレント福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定